

## ご利用病院様の声

標準看護手順書の作成により、新人教育・指導と看護技術習得の流れが標準化!



社会福祉法人 恵寿財団  
済生会御所病院  
副看護部長  
永井 由紀 様

当院仕様のビジュアルナースングメソッド看護手順書作成により、看護職員全員が同じ教材で、いつでもどこでも学習できるようになりました。そのため、病棟間や個人による看護の差異がなくなり、教育・指導も円滑に行われるようになりました。とくに新人職員は、手順書と動画で学習→集合研修→復習後のテスト受講→現場での学習状況確認→実践→チェックリスト評価へと、看護技術習得の流れも標準化されました。

繰り返し演習で新人看護師の不安を軽減!



社会医療法人 杏園会  
一宮西病院  
看護部 教育委員長  
武山 治美 様

ビジュアルナースングメソッドによる事前学習後の集合研修を行っています。事前に手順を学び、技術動画を見てイメージを持つことで、研修時間は演習中心に行うことができます。新人看護師は繰り返し演習を行うことで、実践での不安を軽減し、ラダーII以上の研修では時間が短縮され参加者の負担軽減につながっています。

当院用に編集し、最新のエビデンスに基づいた看護手順がいつでもどこでも視聴できる!



社会医療法人 聖谷会  
明治橋病院  
左: 総看護部長  
中村 しをり 様  
右: 教育担当 看護部長  
島田 美佐 様

看護師全員が必ず視聴し(視聴状況を把握し、毎月教育部へ報告)、新人指導はもちろん、ベテラン看護師も最新の手法を確認する際に積極的に活用しています。新人指導では、事前に自己学習してもらい、集合研修で技術の統一を図っています。

当院仕様の看護手順書を作成し、電子カルテ上でも閲覧可能に!



社会医療法人 三栄会  
ツカザキ記念病院  
左: 看護部長  
山根 一美 様  
右: 教育担当・副看護部長  
喜多村 日富 様

ビジュアルナースングメソッドを導入し、当院仕様の看護手順書を作成しています。看護手順書をPDFデータ化し電子カルテ上に掲載することで、紙のマニュアルやインターネットを開くことなく、電子カルテ上で見ることができるようになり、利便性が向上しました。

2018年度版 2018年1月発行

# ビジュアルナースングメソッド

統一した看護手順書・技術動画で安心な看護を提供!  
手順書の更新やさまざまな技術指導に役立ちます

全300テーマ

新テーマ続々公開中!

2018年度予定  
テーマ数は変更する場合があります



第14回 日本eラーニング大賞  
日本電子出版協会 会長賞  
医療系eラーニング全国交流会 会長賞

ダブル受賞!



簡単に編集できる手順書

リアルな映像で手技をイメージしやすい

どこでも、短時間の学習に使える

無料デモ体験、できます!

ビジュアルナースングメソッド 検索

受講費用 年度契約のみ ※全テーマ 2019年3月31日まで受講いただけます

▶ 学研ナースングサポートと併用の場合

ビジュアルナースングメソッドとともに、学研ナースングサポート(講義配信サービス・別売り)の著名講師陣による講義をOFF-JTで活用すれば、さらに質の高いOJTが実施できます!

受講料金	20,000円/月(税別)
------	---------------

▶ 単体でお申し込みの場合

受講料金	40,000円/月(税別)
------	---------------

単体でお申し込みの場合でも、オプションの追加ができます!

選べるオプション		
看護管理者特別コースI	(基礎・概論編)認定看護管理者セカンド・サードレベルを対象にマネジメントスキルの基礎を学ぶ	120,000円/年度(税別)
看護管理者特別コースII	(実践編)認定看護管理者セカンド・サードレベル対象の実践に活かせる最新12テーマ	120,000円/年度(税別)
退院支援・地域包括ケアコース	これできる! 退院支援と地域包括ケア実践のコツ	120,000円/年度(税別)
学研介護サポート	新人からベテランまで介護職の研修はおまかせ!	120,000円/年度(税別)

※オプションの詳細は学研ナースングサポートのパンフレットをご覧ください。 ※オプションの追加は2つ以上から承ります。 ※お申し込みは年度契約のみとなります

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート  
〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-18

☎ 03-6431-1228 (代表) 平日 9:00~18:00 担当: 営業企画部  
FAX 03-6431-1414 WEB http://gakken-meds.jp

20180110

Gakken

# 4つの ご利用サイクル

学研メディカルサポートでは、「看護手順書」「技術動画」「テスト」「評価表」の4本立てで  
看護師の技術習得をサポートする「ビジュアルナーシングメソッド」を提供しています！

## 1 看護手順書で手技を学習

「根拠」「医療安全」「感染対策」「コツ」の視点にも  
とついた手順が学習できる！

創傷処置（サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方）

1 創傷処置の目的と方法を説明して患者の同意を得る

2 必要な物品を準備する

3 手消毒を行い（消毒・手洗い・手洗剤の使用）、手洗を完了する

4 あらかじめ、固定するガーゼの大きさに合わせて必要な長さ、枚数のテープをトレイに準備しておく

5 創傷を露出する

6 テープをはがすことを患者に伝える

7 【伸びないサージカルテープをはがす場合】  
a. 指で皮膚を押さえながら、皮膚とテープの粘着面のあいだに大きな角度を保つようにしてテープを引っ張り、ゆっくりはがす

8 b. 固定したテープをはがしたのち、ガーゼをはがす

9 【伸びないサージカルテープをはがす場合】  
a. ガーゼのざらつきや段差のない面を裏に当て、ガーゼの中心から外側に向けて、均等に圧がかかるようにテープの粘着面を剥がす

図表3 内の粘着

図表4 剥がす際のポイント

図表5 剥がす際のポイント

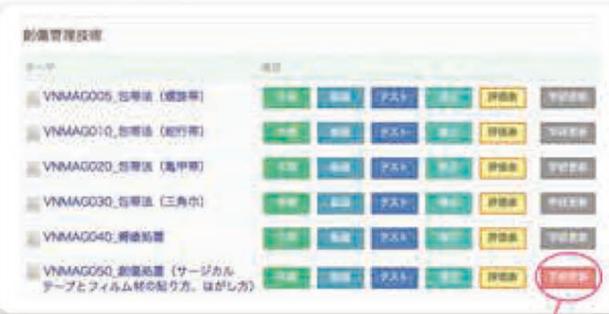
### 〈看護手順の管理をサポートする便利機能〉

#### 編集機能



「編集」ボタンから施設独自の  
物品・手順・写真に簡単に編集できる！

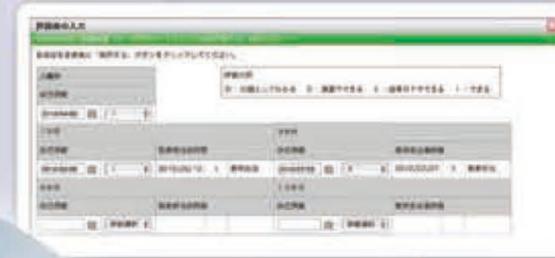
#### 更新お知らせ機能



学研側で定期的にコンテンツを見直し、看護技術をフォロー。  
更新されたコンテンツは、「学研更新」ボタンでお知らせ！

## 4 評価表で到達度を共有

学習者と指導者がそれぞれ到達度を入力・共有し、  
次の学習につなげられる



【学習者】自己評価ができます



【指導者】各学習者の評価ができます

## 3 テストで理解度を確認

学習した看護手順の理解度を  
自分で確認しながら復習できる



テストも施設独自に  
編集可能！

## 2 技術動画で場面を理解

個々の手技はもちろん、声かけから対応まで、  
看護の場面を理解できる



コンパクトな動画でポイントや注意点を何度も確認！



一部テーマでは「看護記録を書く際のポイント」も説明！

新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース	新人看護職員技術チェックコース		
カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ		
環境調整技術	■ 病室の環境調整	清潔・衣生活援助技術	■ 全身清拭	与薬の技術	■ 経口与薬	救命救急処置技術	■ 意識レベルの把握	苦痛の緩和・安楽確保の技術	■ 安楽な体位の保持		
	■ ベッドメーカー		■ 洗髪		■ 経皮与薬		■ 一次救命処置(BLS)		■ 冷電法		
	■ 臥床患者のシーツ交換		■ 臥床患者の口腔ケア		■ 口腔内与薬		■ バッグバルブマスクの使用法		■ 温電法		
	■ 間接的嚥下訓練(嚥下体操)		■ 挿管患者の口腔ケア		■ 点眼		■ ジャクソンリースの使用法		■ リラクゼーション法		
食事援助技術	■ 間接的嚥下訓練(アイスマッサージ)	呼吸・循環を整える技術	■ 義歯のある患者の口腔ケア	症状・生体機能管理技術	■ 点耳	感染予防技術	■ AEDの使用法	安全確保の技術	■ 精神的安寧を保つためのケア		
	■ 安全な食事介助のための準備		■ 入浴介助		■ 気管挿管の準備と介助		■ スタンダードプリコーション(標準予防策)の考え方				
	■ 食事介助		■ シャワー浴介助		■ 止血法		■ 間欠的下肢空気圧迫法				
	■ 経鼻胃管の挿入		■ 陰部洗浄		■ チームメンバーへの応援要請		■ 救急カートの点検				
排泄援助技術	■ 経鼻胃管からの栄養法	創傷管理技術	■ 陰部洗浄(膀胱留置カテーテル挿入患者)	救急時のケア	■ 点鼻	死亡時のケア	■ 手洗い	集中ケア	■ 除細動		
	■ 胃ろうからの栄養法		■ 手浴		■ 直腸内与薬		■ 手指消毒		手術		
	■ 経腸栄養ポンプ: アプリックススマート		■ 足浴		■ 吸入法(定量噴霧式吸入器)		■ 個人防護用具の着脱			集中ケア	
	■ 経腸栄養ポンプ: カンガルーポンプ		■ おむつ交換		■ 吸入法(ドライパウダー式吸入器)		■ N95マスクの着脱				呼吸器
活動・休息援助技術	■ 臥床患者の排尿援助	創傷管理技術	■ 寝衣交換	■ アンブル、バイアルからの薬剤の吸い上げ	■ 減菌手袋の装着	循環器	■ 減菌ガウンの着用	その他			
	■ 臥床患者の排便援助		■ チューブ類の取り扱い(寝衣交換の場合)	■ ミキシング、プライミング	■ 皮下注射		■ 減菌物の取り扱い		消化器		
	■ 導尿		■ 整容	■ 皮下注射	■ 筋肉内注射		■ 体温測定(鼓膜)			循環器	
	■ 膀胱留置カテーテルの挿入		■ 鼻カニューレによる酸素吸入	■ 筋肉内注射	■ 皮内注射		■ 体温測定(電子血圧計)				循環器
■ 膀胱留置カテーテルの管理	■ 簡易酸素マスクによる酸素吸入	■ 皮内注射	■ インスリン製剤の種類・用法と副作用	■ 血圧測定(下肢)	循環器	■ ストーマ装具の排泄物処理					
■ 膀胱留置カテーテルの抜去	■ ネプライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入	■ インスリン注射(専用シリンジ)	■ インスリン注射(ペン型)	■ 瞳孔の評価		循環器	■ 腰椎穿刺				
■ 浣腸(グリセリン浣腸)	■ 酸素ボンベからの酸素吸入	■ インスリン注射(ワンショット)	■ インスリン注射(専用シリンジ)	■ 呼吸音の聴取			循環器	■ 骨髄穿刺			
■ 摘便	■ 口腔内・鼻腔内吸引	■ 点滴静脈内注射	■ 点滴静脈内注射	■ シリンジ採血				循環器	■ 上部消化管内視鏡検査		
活動・休息援助技術	■ 歩行介助	■ 気管切開患者の開放式吸引	■ ヘパリンロック	■ 真空管採血	■ 真空中採血				循環器	■ 上部消化管内視鏡検査看護	
	■ 車いすへの移乗	■ 挿管患者の開放式吸引	■ 三方活栓からの静脈注射	■ 血液培養	■ 血液培養	循環器				■ 下部消化管内視鏡検査	
	■ 車いすでの移送	■ 挿管患者の閉鎖式吸引	■ 中心静脈カテーテル挿入の準備	■ 咽頭培養	■ 咽頭培養		循環器			■ 下部消化管内視鏡検査看護	
	■ ストレッチャーへの移乗	■ 人工呼吸器の準備	■ 中心静脈カテーテル挿入の介助	■ 胃液培養	■ 胃液培養			循環器		■ 気管支鏡検査	
■ ストレッチャーでの移送	■ 人工呼吸器の管理 — 1. 呼吸器と気道の管理	■ 中心静脈カテーテル挿入患者の管理	■ 尿の採取	■ 尿の採取	循環器				■ 気管支鏡検査看護		
■ チューブ類の取り扱い(移乗の場合)	■ 人工呼吸器の管理 — 2. 患者の観察	■ 輸液ポンプの使用	■ 喀痰採取	■ 喀痰採取		循環器			■ 心臓カテーテル検査		
■ 体位変換(左右の移動)	■ 人工呼吸器の管理 — 3. 日常のケア	■ 輸液ポンプの管理	■ 喀痰採取(吸引による)	■ 喀痰採取(吸引による)			循環器		■ 心臓カテーテル検査看護		
■ 体位変換(上下の移動)	■ 人工呼吸器の管理 — 4. アラーム対応	■ シリンジポンプの使用	■ 動脈血採取の準備と検体の取り扱い	■ 動脈血採取の準備と検体の取り扱い				循環器	■ 血管造影検査		
■ 体位変換(仰臥位から側臥位)	■ ジェットネブライザーの実施	■ シリンジポンプの管理	■ 血糖値測定	■ 血糖値測定	循環器				■ 血管造影検査看護		
■ 体位変換(仰臥位から端坐位)	■ 超音波ネブライザーの実施	■ 輸血の準備	■ 12誘導心電図の装着と計測	■ 12誘導心電図の装着と計測		循環器			■ 上部消化管 X 線造影検査		
■ チューブ類の取り扱い(体位変換の場合)	■ 人工呼吸器の回路交換	■ 輸血の実施	■ ハルスオキシメータによる測定	■ ハルスオキシメータによる測定			循環器		■ 上部消化管 X 線造影検査看護		
■ 廃用症候群予防	■ 体位ドレナージ	■ 輸血中と輸血後の観察	■ 身長測定	■ 身長測定				循環器	■ 超音波検査		
■ 関節可動域訓練(上肢)	■ 体温調整	■ 麻薬の理解と管理	■ 体重測定	■ 体重測定	循環器				■ 超音波検査看護		
■ 関節可動域訓練(下肢)	■ 褥瘡の予防	■ 特別な注意を要する薬剤の管理	■ 胸囲測定	■ 胸囲測定		循環器			■ RI 検査		
■ 入眠・睡眠の援助	■ 褥瘡の予防 — 摩擦とずれ予防	■ 抗菌薬の用法の理解と副作用の観察	■ 腹囲測定(立位)	■ 腹囲測定(立位)			循環器		■ RI 検査看護		
■ 体動・移動に注意が必要な患者への援助(認知症患者の場合)	■ 褥瘡処置	■ 抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察	■ 腹囲測定(臥位)	■ 腹囲測定(臥位)				循環器	■ CT 検査		
	■ 創傷処置(サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方)	■ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い	■ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い	■ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い	循環器				■ CT 検査看護		

**Check!**

**2018年度は在宅終末期ケアコースを追加予定!**

内容

在宅での看取り  
死後の処置の実際  
予後予測 など

新人看護職員技術チェックコース <b>プラス+</b>	新人看護職員技術チェックコース <b>プラス+</b>	新人看護職員技術チェックコース <b>プラス+</b>	新人看護職員技術チェックコース <b>プラス+</b>
カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
基本技術	■ 皮下埋め込み型ポートの管理	消化器	■ 腹腔穿刺
	■ ドレーン挿入患者の管理		■ 腹腔ドレーン挿入
	■ 局所麻酔における看護		■ イレウス管挿入患者の管理
	■ 胃痙周辺部のスキンケア		■ ストーマサイトマーキング
救急	■ 弾性ストッキングの着用	検査	■ ストーマ造設術直後の装具交換
	■ 間欠的下肢空気圧迫法		■ ストーマ器具の排泄物処理
	■ 救急カートの点検		■ 腰椎穿刺
	■ 除細動		■ 骨髄穿刺
手術	■ ハイムリック法	手術	■ 上部消化管内視鏡検査
	■ 窒息時の吸引		■ 上部消化管内視鏡検査看護
	■ 経口エアウェイ・経鼻エアウェイ		■ 下部消化管内視鏡検査
	■ 熱傷時の初期対応		■ 下部消化管内視鏡検査看護
集中ケア	■ 胃洗浄における看護	手術	■ 気管支鏡検査
	■ アナフィラキシー発症時の初期対応		■ 気管支鏡検査看護
	■ 病院内での成人に対する二次救命処置(ALS)		■ 心臓カテーテル検査
	■ 硬膜外麻酔における看護		■ 心臓カテーテル検査看護
呼吸器	■ 貯血式自己血輸血の採血	手術	■ 血管造影検査
	■ 脳室ドレナージの管理		■ 血管造影検査看護
	■ 動脈圧モニタ(準備)		■ 上部消化管 X 線造影検査
	■ 動脈圧モニタ(ラインの挿入)		■ 上部消化管 X 線造影検査看護
循環器	■ 動脈圧モニタ(採血)	その他	■ 超音波検査
	■ 動脈圧モニタ(管理)		■ 超音波検査看護
	■ 経皮的気管穿刺(緊急時)		■ RI 検査
	■ 気管切開部の管理		■ RI 検査看護
循環器	■ 人工呼吸器離脱(SAT、SBT)	その他	■ CT 検査
	■ 人工呼吸器離脱(気管チューブの抜去)		■ CT 検査看護
	■ 胸腔穿刺(胸水)		■ MRI 検査
	■ 胸腔ドレーン挿入(胸水)		■ MRI 検査看護
循環器	■ 胸腔ドレーン挿入(気胸)	その他	■ X線一般撮影
	■ 胸腔ドレナージの管理		■ X線ポータブル撮影
	■ 心嚢穿刺		■ 陰圧閉鎖療法中の患者の管理
	■ 心嚢ドレーン挿入		■ 介達牽引・直達牽引の介助
循環器	■ 体外式ペースメーカー挿入患者の対応	その他	■ 牽引中の患者の管理
	■ 心臓ペースメーカー植え込み術直後の対応		

小児看護コース	小児看護コース
カテゴリー	テーマ
食事援助技術	■ 安全な食事介助のための準備
	■ 食事介助(調乳)
排泄援助技術	■ 食事介助
	■ 浣腸(グリセリン浣腸)
活動・休息援助技術	■ ベビーカーの使い方
	■ 入眠・睡眠の援助
清潔・衣生活援助技術	■ 口腔ケア
	■ 小児の沐浴
症状・生体機能管理技術	■ シャワー浴の介助
	■ おむつ交換
安全確保の技術	■ バイタルサインの測定
	■ 尿の採取
その他	■ 身長測定
	■ 体重測定
安全確保の技術	■ 頭囲測定
	■ 静脈血採取
その他	■ 静脈血採取
	■ 冷電法
安全確保の技術	■ 温電法
	■ 転倒転落防止策
その他	■ プレバレーション